

(別紙2)

研究助成・事業助成・ボランティア活動助成 報告書の作成要領

研究・事業・ボランティア活動助成の成果は、「報告書の全文」を集録集として作成し、助成者及び財団関係者に配布します。「研究・事業の要約」及び「ボランティア活動報告」は、ホームページ及び集録集の冊子に掲載します。報告書の全文は CD-ROM に集録します。

1. 報告書は、A4用紙にて、Word文書で作成下さい。(記載例を参照ください)
2. テーマは14ポイント (MSゴシック体)、所属・氏名は、10.5ポイント (MS明朝体)、本文の文字は、10.5ポイント (MS明朝体) にして下さい。
余白は、上30mm、左右30mm、下30mm (1ページ40字×40行を基本とする)
3. 研究・事業・ボランティア活動のテーマ、研究申請者所属氏名・共同研究者所属氏名を記入 (テーマ・所属・氏名は枠で囲む)
章立て 1. 2. 3. 4. . . .
 (1) (2) (3) (4) . . .
 1) 2) 3) 4) . . .
 ① ② ③ ④ . . .
4. 報告書の記載順
 - 1) 研究報告書は、緒言、目的、方法、結果、考察、結論、研究の成果、引用文献、成果の公表 (学会発表、論文投稿等) の順で作成。
 - 2) 事業報告書は、緒言、事業目的、事業方法、事業結果、考察、結論の順で作成。
 - 3) ボランティア報告は、はじめに、取り組みの内容、結果、まとめの順で作成。
 - 4) 文献の記載
 - ① 文献は、本文中に引用されたもののみとしてください。
 - ② 文献の記載順序は、本文での引用順のバンクーバー方式とします。本文の引用個所には肩番号を付して照合してください。文献の著者氏名は原則として3名までとし、4名以降は、「・他」「, et al」 としてください。
例 (雑誌) 著者名 ; テーマ、雑誌名、巻 (号) : 頁 - 頁, 発行年 (西暦).
例 (単行本) 編著者名 ; 書名 (版) ; 頁 - 頁, 発行所, 発行年 (西暦).
5. 報告書枚数
研究報告 15枚以内 (図・表・写真含む)、
事業報告 6枚以内 (図・表・写真含む)
ボランティア活動報告 3枚以内 (図・表・写真含む)
6. 「研究助成・事業助成・ボランティア活動助成 報告書」について
 - 1) 原則として提出された報告書は、データをそのまま使用させていただきますので、写真および図表はカラーで作成してください。
 - 2) ページ数はいれないでください。
 - 3) 研究報告のうち、「成果の公表」は集録には掲載しません。
7. 提出方法
 - ①別紙1 助成事業実績報告書・会計報告書について

各1部をプリントアウトし郵送にて財団宛に提出下さい。

②研究と事業の報告書と要約について

データをPDF等に変換せず、必ずWord文書のままメールにて、info@fbm-zaidan.or.jpまで送信ください。

③ボランティア活動の報告書について

報告書のみを作成し、データをPDF等に変換せず、必ずWord文書のままメールにて、info@fbm-zaidan.or.jpまで送信ください。

8. データは、完成版をお送りください。

助成を受けた全原稿は、冊子及びCD-ROMにして当財団関係機関及び助成者に送付いたします。

提出後、やむを得ず修正される場合は、修正後の全原稿をメールに添付して、再提出してください。(修正部分がわかるようマーキング等をしてください。)

9. 提出締め切り 令和7年5月30日(金)

10. 報告書記載例

記載例

テーマ・所属・氏名は
枠で囲む

一人暮らし高齢者における機能訓練事業の 身体・心理社会的効果の検討 (MS ゴシック 14P)

研究者 (事業者)

〇〇〇病院 (MS 明朝 10.5P)

〇〇〇〇

共同研究者 (共同事業者)

〇〇県立看護大学看護学部

〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

*章立てポイント：以下参照

1. 緒言 (MS 明朝 12P 太字)

(背景・意義)・・・・・・・・・・日常生活の自立を助けることを目的^{1,2)}とした。

本文 (MS 明朝 10.5P)

2. 目的 (MS 明朝 12P 太字)

・・・・・・・・・・(本文はMS 明朝 10.5P)

3. 研究方法 (MS 明朝 12P 太字)

(1) 対象 (MS 明朝 10P)

4. 結果 (MS 明朝 12P 太字)

(・・・・・・・・・・(本文はMS 明朝 10.5P)